

## 日本鐵鋼協會記事

**評議員會** 昭和 7 年 3 月 7 日(月)午後 5 時 鐵  
鋼協會事務所に於て開會 出席者 俵 國一君、河村  
驥君、渡邊三郎君、香村小鎌君、鹽田泰介君、服部 漸  
君、井上禱之助君、大河内正敏君、加藤 榮君、桂 升  
三君、向井哲吉君、室井嘉治馬君、三輪時雄君、島岡亮  
太郎君 協議事項 1) 昭和 6 年度收支決算に關する  
件、2) 昭和 7 年度收支豫算に關する件、3) 服部博士記  
念資金收支決算に關する件、4) 任期満了役員改選候補者  
推薦に關する件、5) 第 17 回通常總會開會に關する件、  
6) 本會贊助會員工學博士團琢磨君逝去に付き弔意を表す  
る件 報告 1) 服部賞牌並服部賞金受領者決定、2) 第  
二回工學大會舉行準備進行工程、3) 本會第 9 回講演大會  
舉行に關する件(10 月中旬大阪)4) 輪西製鐵株式會社維  
持會員に加盟(2 口)5) 現在會員數、6) 獨逸鐵鋼協會主  
事ベテレゼン氏在職 25 年の祝賀狀贈呈及同氏よりの其挨  
拶 以上の審議を了して午後 8 時散會す。

**編輯委員會** 昭和 7 年 3 月 2 日(水)午後 5 時開  
會 出席者 俵會長、河村理事、池田正二君、石原善雄  
君、田中清治君、室井嘉治馬君、山田良之助君、足立泰  
雄君、三島德七君、鹽澤正一君、廣瀬政次君 協議事項  
1) 鐵と鋼第 18 年第 4 號上掲原稿選定の件、2) 大會、  
總會の準備事項及委員分擔に關する件等にして午後 8 時  
閉會す。

## 選定論文原稿

- |                        |       |         |
|------------------------|-------|---------|
| 1. 洞岡骸炭工場に就て           | 綾 部 先 | 君 次     |
| 2. 薄鋼板の壓延に就て           | 須 永 己 | 行 夫     |
| 3. シートバー壓延の理論と實際       | 川 良 本 | 郎 郎     |
| 4. 鋼力板の鍛金作業に就て         | 伊 藤 正 | 次 數     |
| 5. クロム鋼の組織成分に就て        | 村 上 武 | 田 齋     |
| 6. 鐵の機械的性質に及ぼす燐の<br>影響 | 初 初   | 嘉 村 平 八 |

## 入會者承認

居所又宛名先	職業及勤務先	會員別	入會者氏名	紹介者
山口縣下松町	車輛製造並鐵工業	正	株式會社日立製作所笠戸工場	一馬 嘉治
市外中野町小瀧五七	法學士 海軍主計中將 神戸製鋼所社長	正	永 安 晋 次 郎君	井 一駒
秋田市秋田鑛山專門學校	冶金科學生	准	橋 本 重 喜君	村 駒 次 郎
神戸市葺合區川崎造船所製鋼工場	工學得業士 同製鋼課	〃	西 里 武 人君	志 清 太 郎
大阪市西成區千本通三丁目三十一高橋方	栗本鐵工所技師	〃	船 木 重 憲君	西 嶋 太 郎
八幡市荒生田二丁目	製鐵所總務部文書課	〃	三 船 木 宅 運秀君	宮 橋 泰 夫
八幡市製鐵所化工部第二骸炭課	遞信省管船局試驗所	〃	岡 村 琢 三君	村 黒 乾 造 郎
市外目黒町下目黒二八八	東京帝大冶金學々生	〃	三 井 一 彦君	山 島 康 德
本郷區西片町一〇イノ十一 (小石川3931)	千住鐵板製造所工場長	〃	吉 藤 一 光君	宮 三 内 雄 久
千葉縣市川町市川五〇八	三石星煉瓦製造所	〃	井 見 井 寿 八君	村 松 太 郎
大阪府中河内郡布施町東足代六八 (小阪316)	製鐵所宿老	〃	川 又 一 郎君	平 松 實 太
八幡市楓田三條五丁目一號官舍	東京帝大冶金學生	〃	木 田 進君	三 島 德 七
市外落合町下落合四五〇酒井章吉方	〃	〃	佐 藤 忠 雄君	島 俵 一
市外西巢鴨町堀之内1001肝付兼英方	〃	〃	俵 松 茂 樹君	国
赤坂區新坂町六(青山6490)	〃	〃	本 喜 夫君	〃
本郷區西片町一〇ほの二四	〃	准	川 昇君	〃
市外井荻町荻窪三四九大濱方	工學博士海軍技師廣 海軍工廠	〃	大 谷 文 太 郎君	室 井 嘉 治 馬
本郷區森川町七五櫻井正治方				
廣島縣加茂郡廣村海軍工廠官舍				

死 亡

本會贊助會員工學博士男爵團琢磨君の逝去せらる  
るは洵に痛惜の至りなり茲に謹んで弔意を表す

